

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業  
「プリザーブドフラワー～ハンドメイドコサージュ～」

平成31年2月3日(日)

13時30分～15時



節分の日の2月3日、受講者20名が参加してプリザーブドフラワーを使ったコサージュ作りが開催されました。

淡いピンクやオレンジ、クリーム色やブルーのミニ薔薇のプリザーブドフラワー2本をメインに、造花やパール、リボンを講師があらかじめキット状に組んでいる中から好みの色を選び、グルーガンというホットボンドを使用して台に花と

リボンなどを接着して制作しました。キットは20種類あり、どれも二つとして同じ組み合わせのないものでオリジナルのシックでエレガントなコサージュが完成しました。



今回、講師にお招きしたのは、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師であり、1級フラワーデザイナーの森里美さんです。講師の評判を聞き、休みを取って受講した方や遠路から来館した方もいました。今、人気のプリザーブドフラワーとは、生花に保存料を吸わせて特殊加工をすることで長期間自然な風合いや鮮やかな色を楽しめる加工花のことで、1987年

にフランスのヴェルumont社によって生み出されました。カラーバリエーションが豊富で色あせることもないので、記念日のギフトやディスプレイとして国内外多方面において様々な形で利用されています。

この日の受講者は、30代から70代まで幅広く、子どもの卒業式や入学式で使いたい方や、また、お嫁さんや孫へのプレゼントにする方などでした。同じ材料でも、接着の仕方によって少し大振りなものや、高さのある立体的なコサージュが完成しました。



講座の終わりには、実際に完成したコサージュを胸元に付けて、「もっと高い位置の方が若々しく見えるよ。」「卒業式の日が待ち遠しいね。」とアドバイスの世代間交流も行われ、和気あいあいとおしゃべりを楽しみながらの講座となりました。保管用の箱付きで、持ち帰りに便利だったのと家庭でも永く置いてもらえるので、今日の思い出とともに節目節目に取り出して活用してもらえようと思います。